

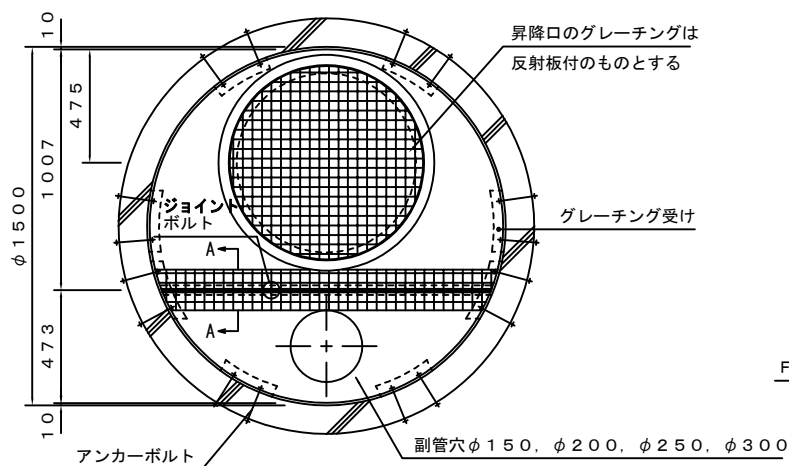
名 称

内部副管用中間スラブ標準図（１）

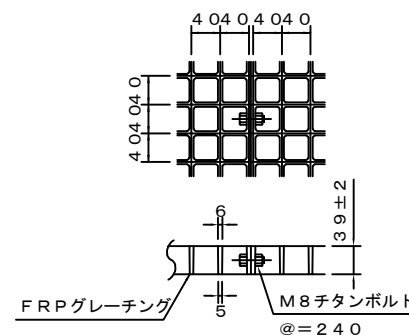
副管径が150mm～300mm

（単位：mm）

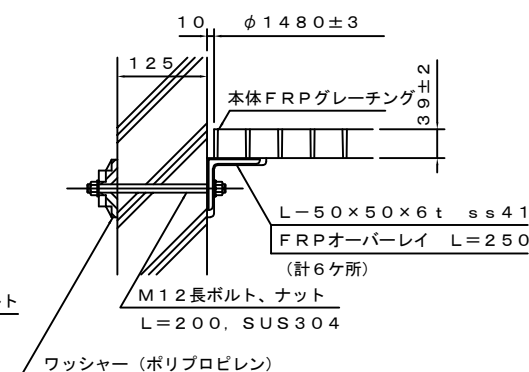
中間スラブ詳細図 S=1/30



ジョイント詳細 S=1/10

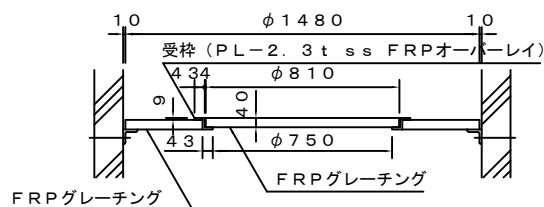


端部断面詳細図 S=1/10



【内部副管用中間スラブの設置基準】

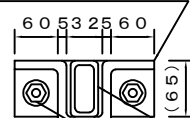
1. 本管の管底がインバート天端から2.0m程度以上の高さにある場合、原則、維持管理用として中間スラブを設けるものとする。
2. 鉄蓋～中間スラブ～インバートの各間隔は5mを超えてはいけない、これを超える場合さらに中間スラブを設けるものとする。
3. 中間スラブを設ける場合、仕切られた上下の室内は持管理の作業性を考慮し、高さ方向に最低2.0mの空間を設けるものとする。
4. 中間スラブを設ける場合、マンホール径は1.5m以上とし、昇降口の径は75cmとする。また、中間スラブ、昇降口の材質等は、原則としてFRP製で格子状とし、耐荷重3.6kN/m²以上とする。
5. 中間スラブの昇降口の設置は鉄蓋と同一方向とする。
6. グレーチング蓋は、反射板付のものとする。



<注>副管穴は現場にて穴あけする。

補強材受詳細図 S=1/10
(A-A)

補強材受SS材6t 鋼板入りFRPオーバーレイ
(2ヶ所)



M12長ボルト、ナット SUS304 L=200
ワッシャー付（ポリプロピレン）

補強材□-52x32x5t FRP